

阿賀野川の危険箇所の解消に向けて

～ J R 羽越本線阿賀野川橋梁の部分架け替え工事 ～

阿賀野市下里(さがり)地区にあるJR羽越本線阿賀野川橋梁と堤防との交差部は、計画上の堤防の高さが不足し、平成23年7月新潟・福島豪雨、令和元年東日本台風などの洪水では、水防団による土のう積が行われており、**阿賀野川で最も堤防から越流する危険性が高い箇所**となっています。

阿賀野川河川事務所では、この危険箇所の解消に向け、**JR東日本と連携し『羽越本線洪水防止連携整備事業』を推進**しています。この度、**11月下旬に鉄道橋梁の部分架け替え工事を実施**することになりました。

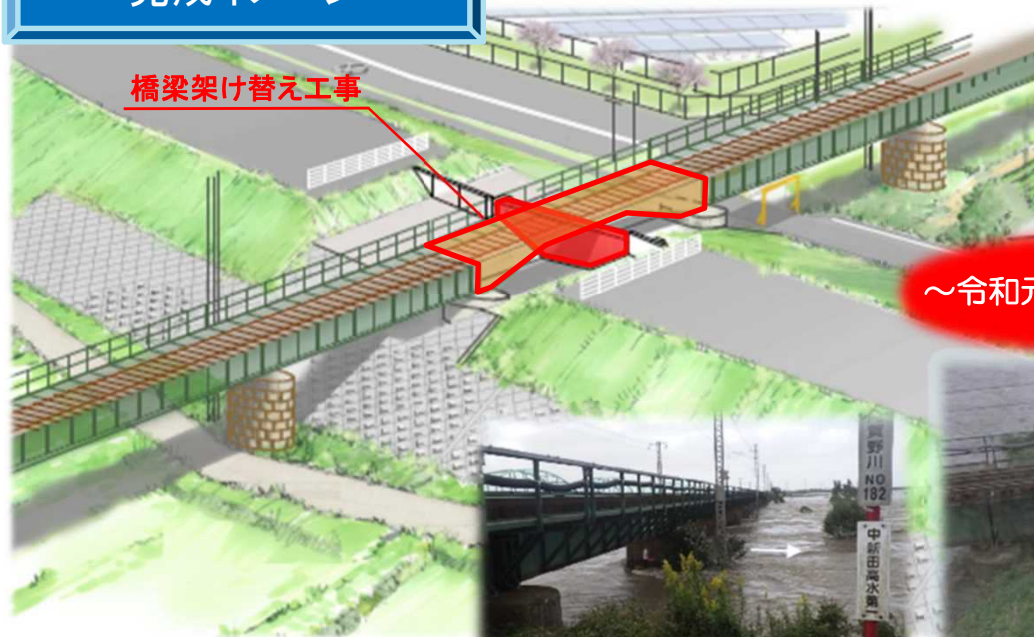
つきましては、工事を実施する前に下記の日時で現地説明会を開催します。当日は現地において、工事の施工方法や事業全体の進捗状況についてご説明します

現地説明会日時 ; 令和3年11月19日(金) 10:00～

集合場所 ; 阿賀野市内京ヶ瀬防災ステーション(別添地図参照)

取材いただける場合には問い合わせ先まで是非ご連絡ください。

完成イメージ



～令和元年10月洪水時の状況～



【阿賀野川橋梁からの洪水状況】



【水防活動の状況】

投げ込み先

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

副所長(技術) 松井 渉

工務課長 外山 豊

〒956-0032 新潟市秋葉区南町14-28

電話 0250-22-2211(代)

事務所HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

事務所twitter https://twitter.com/mlit_aganogawa

『羽越本線洪水防止連携整備事業』 概要

■事業内容

本事業は、阿賀野川右岸(阿賀野市下里地区)において、JR羽越本線阿賀野川橋りょうと堤防との交差部の堤防の高さが低い箇所において、橋梁の一部区間を架け替え、堤防を拡幅しつつ橋桁下部の開口部を塞ぎ堤防を高くする事業です。

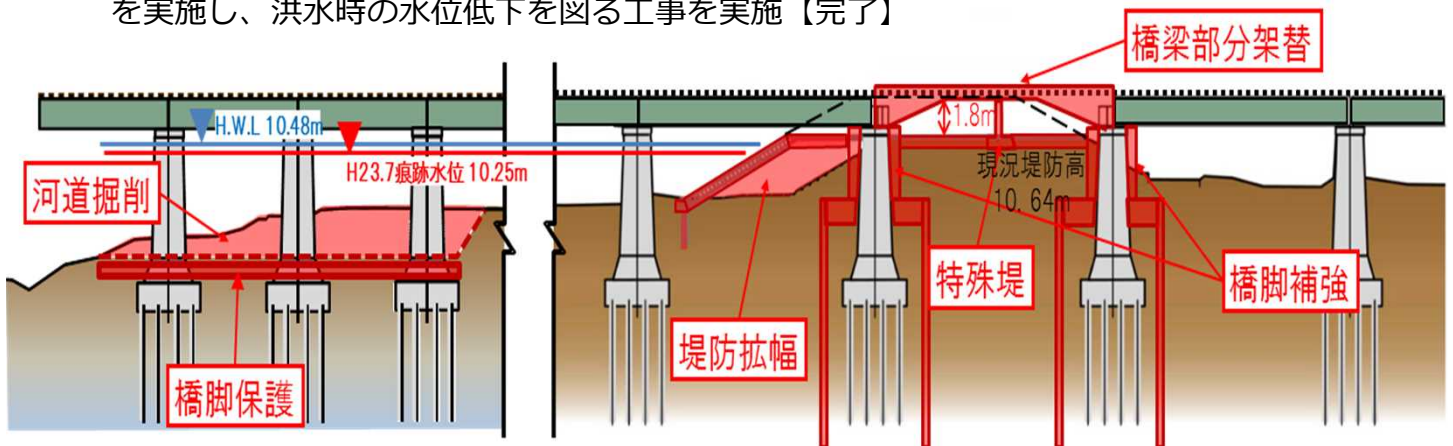
事業実施にあたっては、橋脚補強と橋梁の架け替え工事をJR東日本が、堤防の改築を阿賀野川河川事務所が連携して行います。



■事業実施内容

橋脚補強【完了】、橋梁部分架替【今回実施】、特殊堤(コンクリートの堤防)設置【今回実施(一部完了)】、堤防拡幅【今後実施】、

※その他、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」として、河道掘削、樹木伐採を実施し、洪水時の水位低下を図る工事を実施【完了】



■事業効果

- ・観測史上最大の洪水である平成23年7月新潟・福島豪雨と同規模の洪水が発生しても、安全に洪水を流すことができます
- ・避難指示発令の目安となる氾濫危険水位が、現在よりも高い水位に設定できることから、避難指示回数が4割低減します。(1949年～2019年実績で10回から6回に減少)
- ・水防上必要な土のう積は3段を行う程度となり、平成23年新潟・福島豪雨時の1657袋に比べ9割弱削減されます。

平成23年7月洪水時の阿賀野川橋りょう



想定される被害



羽越本線洪水防止連携事業 橋梁部分架け替え工事 概要

◆ 工事内容

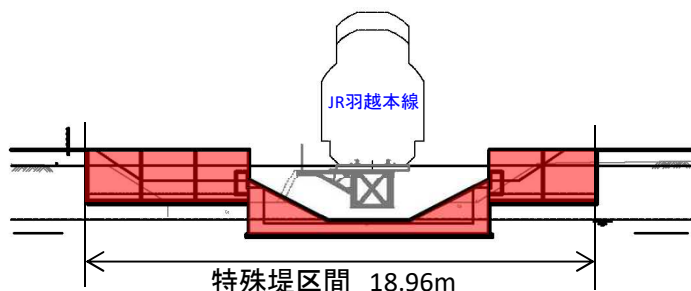
今回の工事は、阿賀野川右岸(阿賀野市下里地区)において、JR羽越本線阿賀野川橋りょうの一部区間(堤防と交差する橋桁1径間)を架け替える工事です。大型クレーン(650t吊り)を使用して、現況の橋桁を取り外し、新しい橋桁を設置します。あわせて、新しい橋桁によって生み出された空間に特殊堤を設置する工事(鋼製ゲートの設置)も行います。

工事は列車の運行に支障がない夜間に実施し、次の日の朝の運行に間に合うように完了させます。

◆ 施工方法

工 事 前

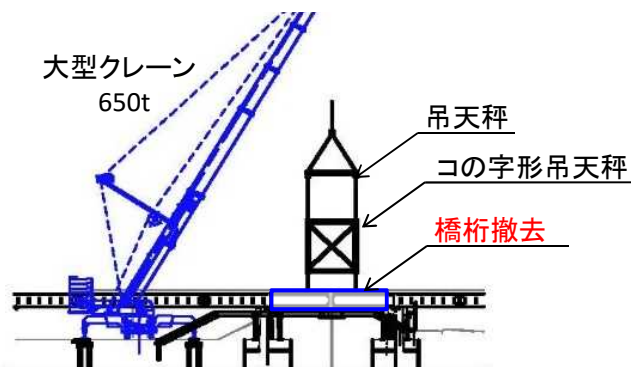
これまで橋梁架け替えのための橋脚補強工事、現況の橋桁に影響しない範囲の特殊堤の工事を実施



工事施工

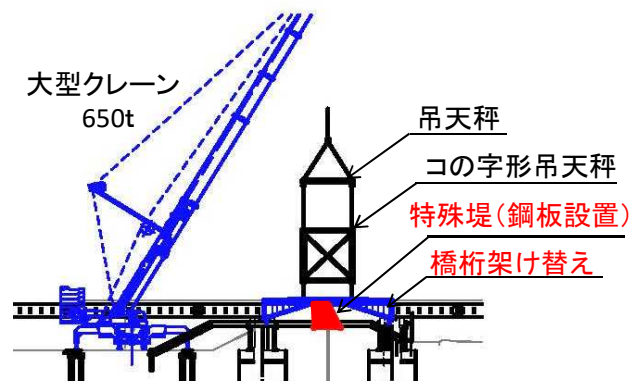
現況の橋桁取り外し

堤防と交差する区間の現況の橋桁を取り外して現地に仮置き



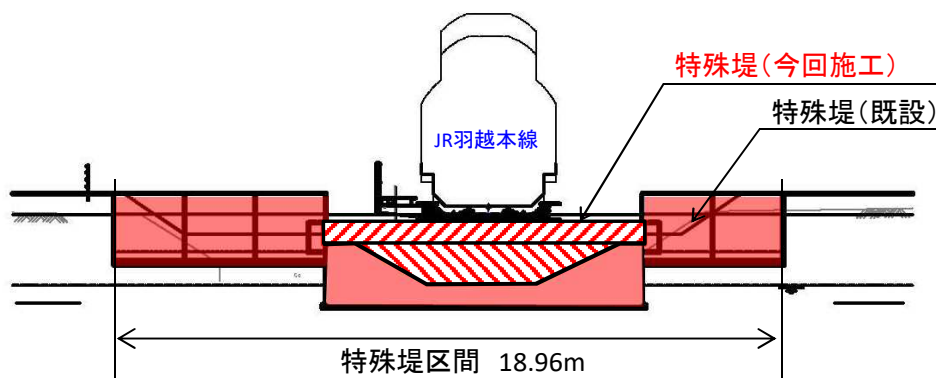
新しい橋桁設置・特殊堤工事

特殊堤の鋼板を設置後、現地で組み立てた新しい橋桁を設置



工事完成

新しい橋桁によって生み出された空間に特殊堤の鋼板を設置し、堤防の高さを嵩上げ(コンクリートの打ち込みは後日別途工事で実施)



京ヶ瀬防災ステーション 位置図



地理院地図より

